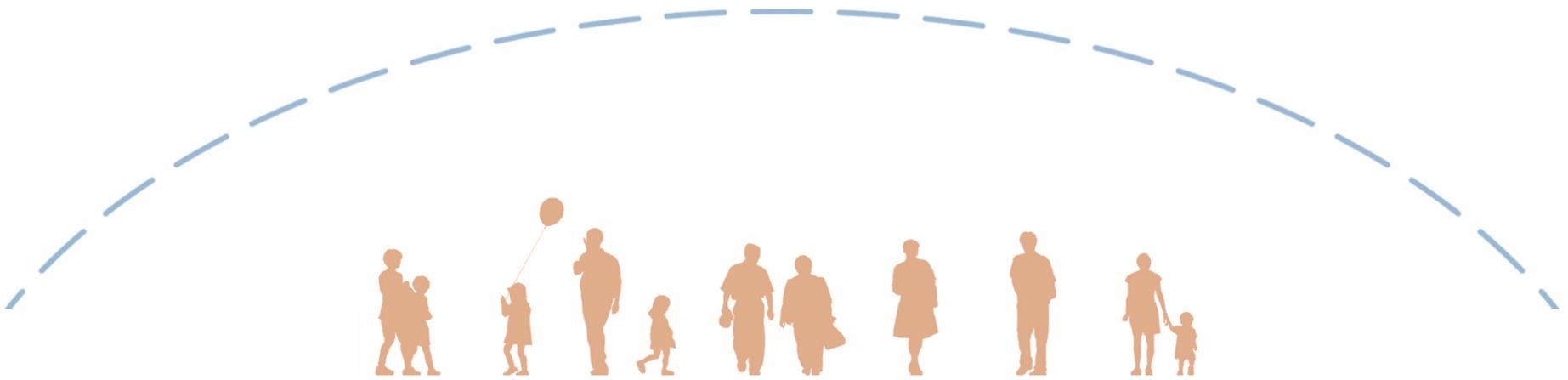


物理的な生存環境

「月というコンテクストを読み込み、活かす」という エンジニアリング的アプローチ



心理的な居住環境

「こんな場所や活動があったらいいな」という ヒューマンオリエンテッドなアプローチ

私たちの月地下空洞における「環境構築 2つのコンセプト」

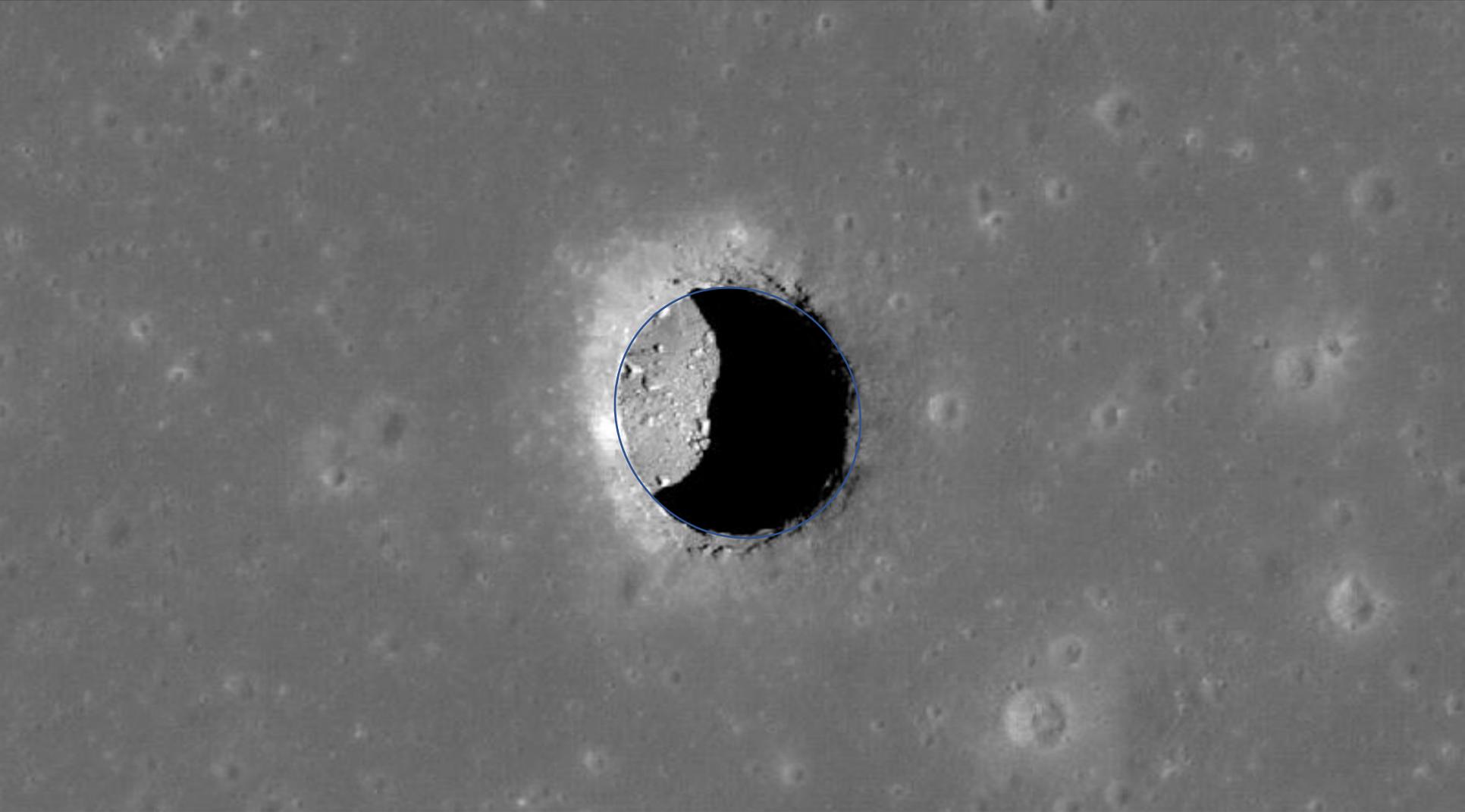
人がいきいきとする環境を創造する

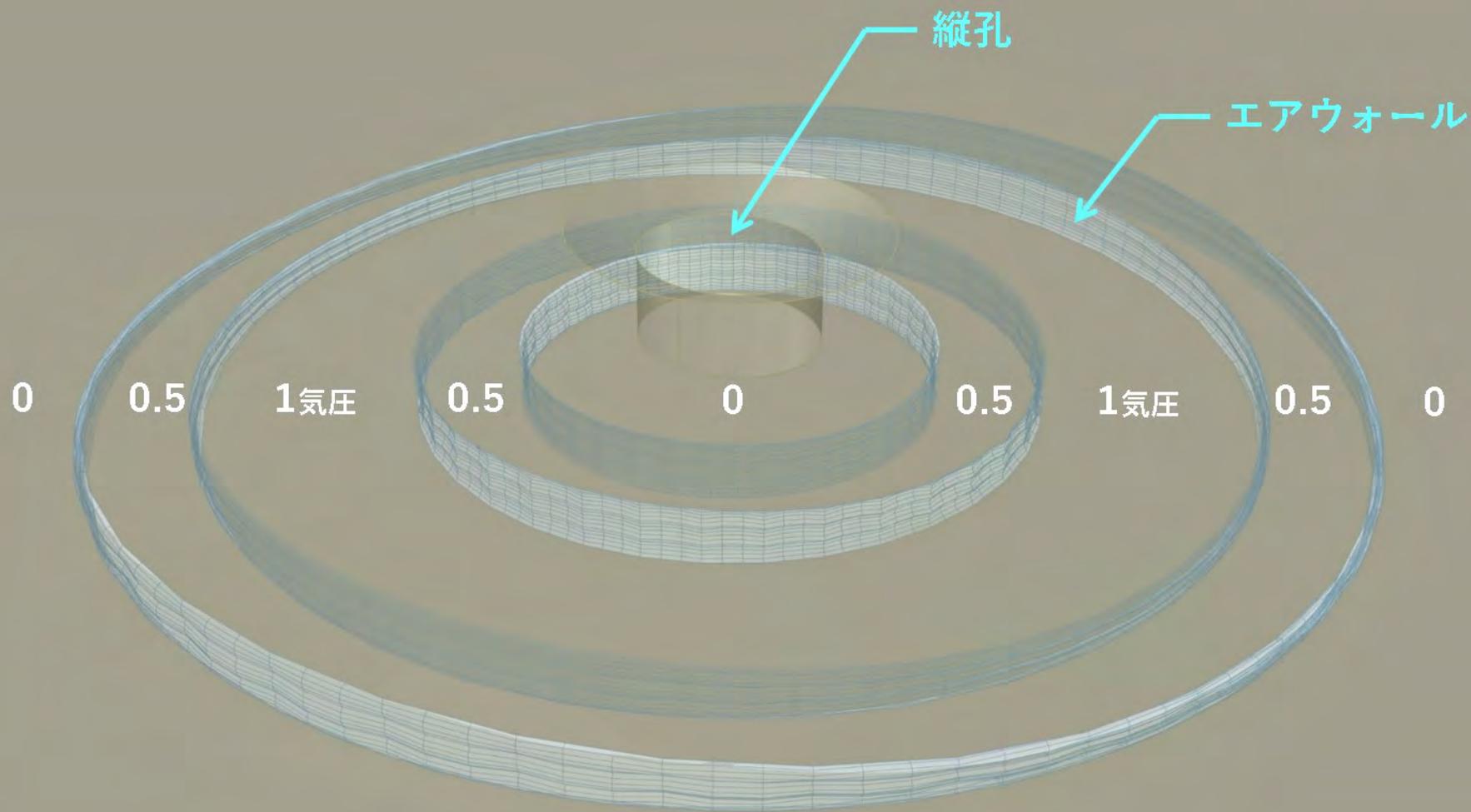


Circular Mini Earth

月でのくらしを包む、おおきな「輪」の空間

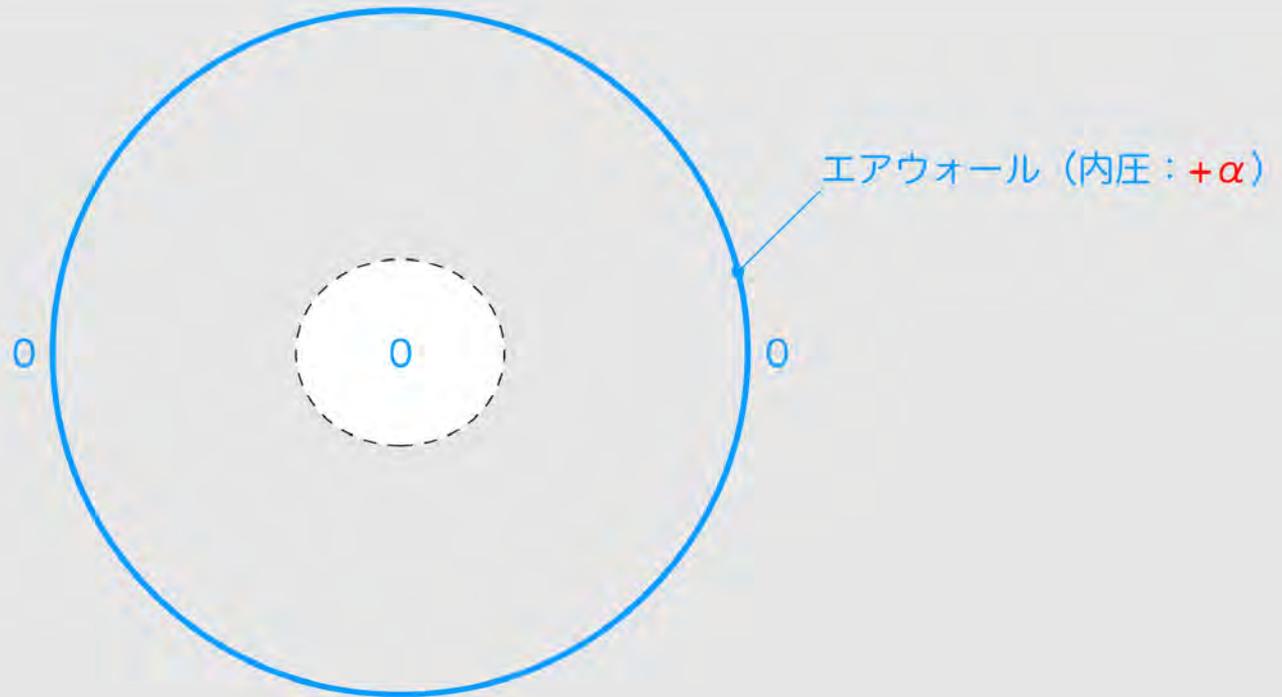






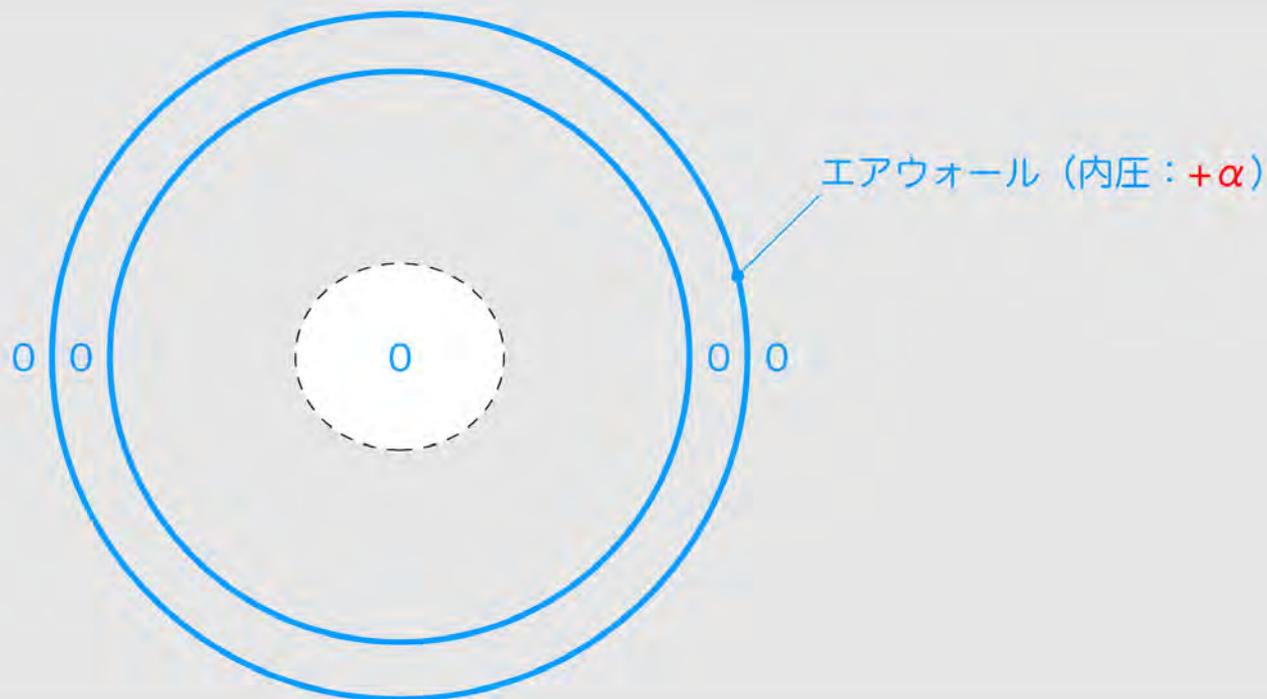
縦孔を中心とし、地下に大きな1気圧空間を構築

Step-1 : 最外周壁面 (エアウォール) 立上げ

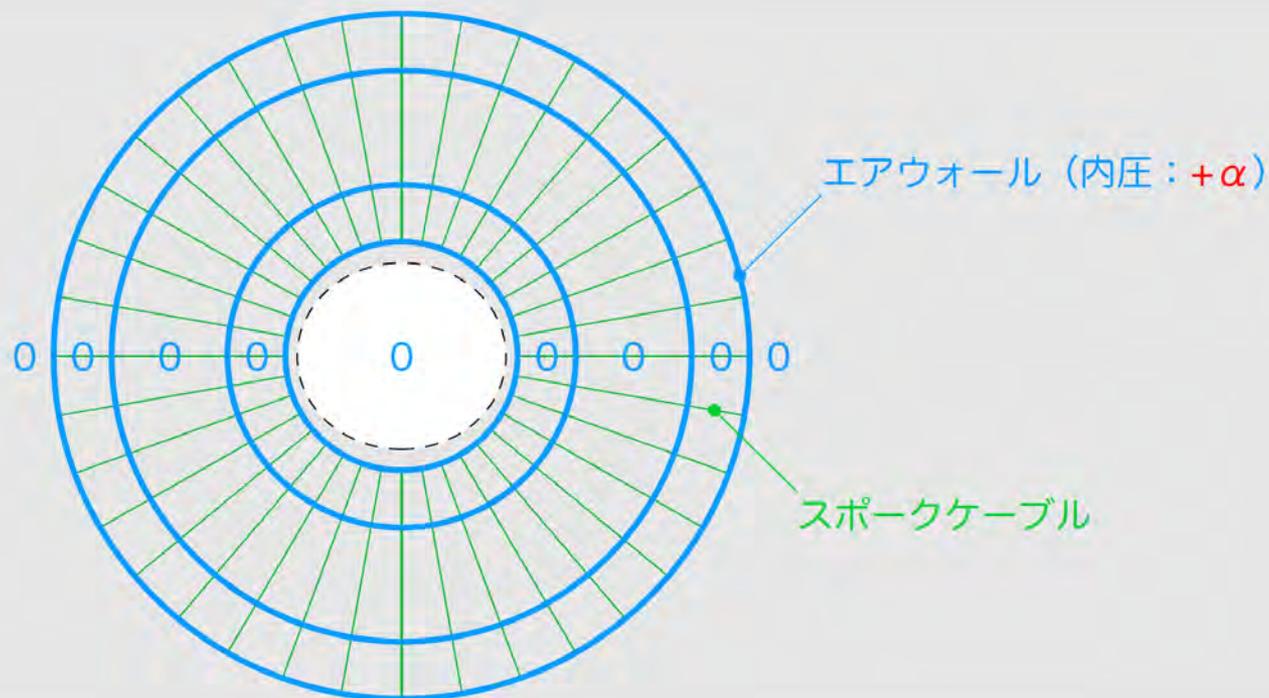


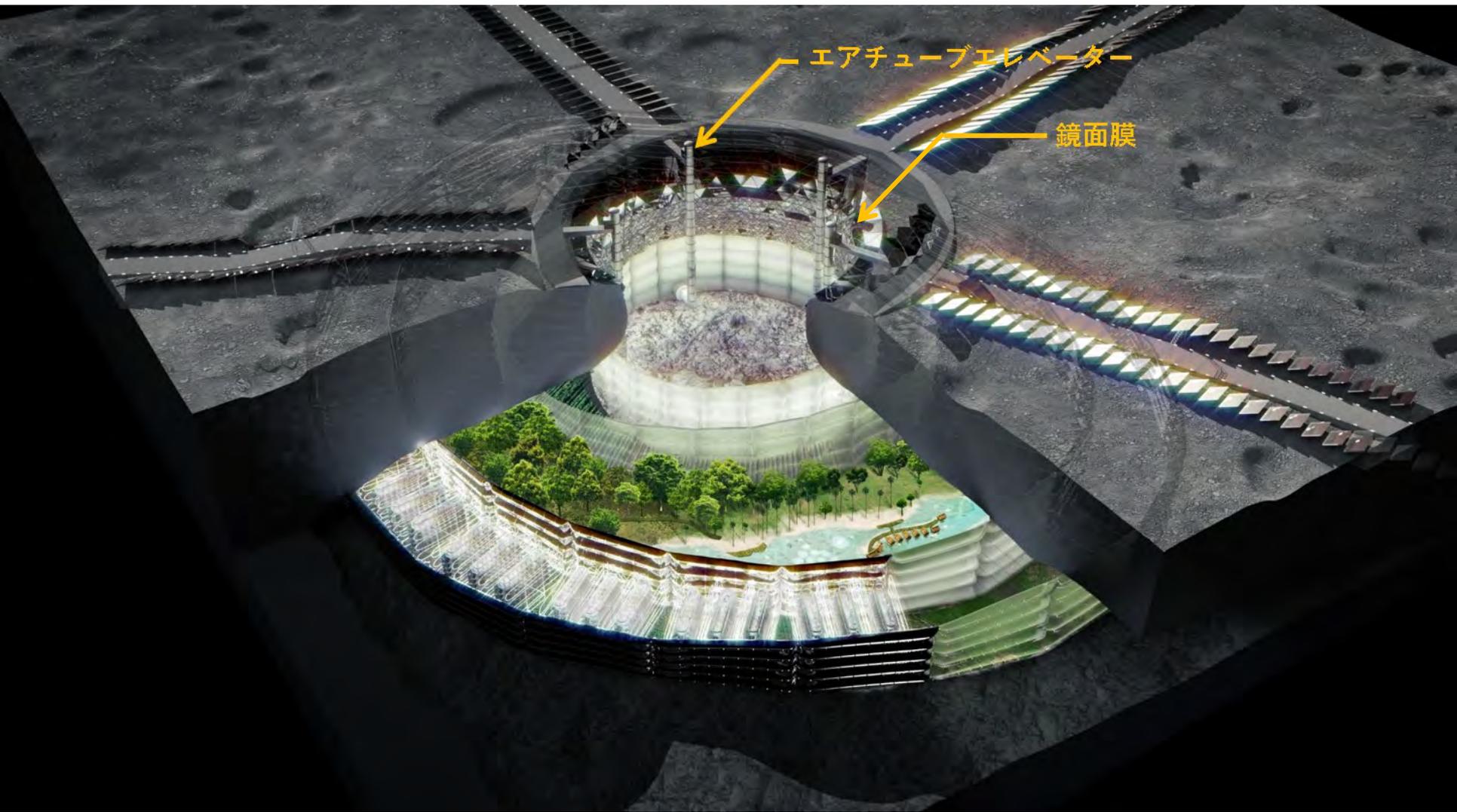
壁面自体にエア注入し、真空環境下でリング状のエアウォールを立上げ

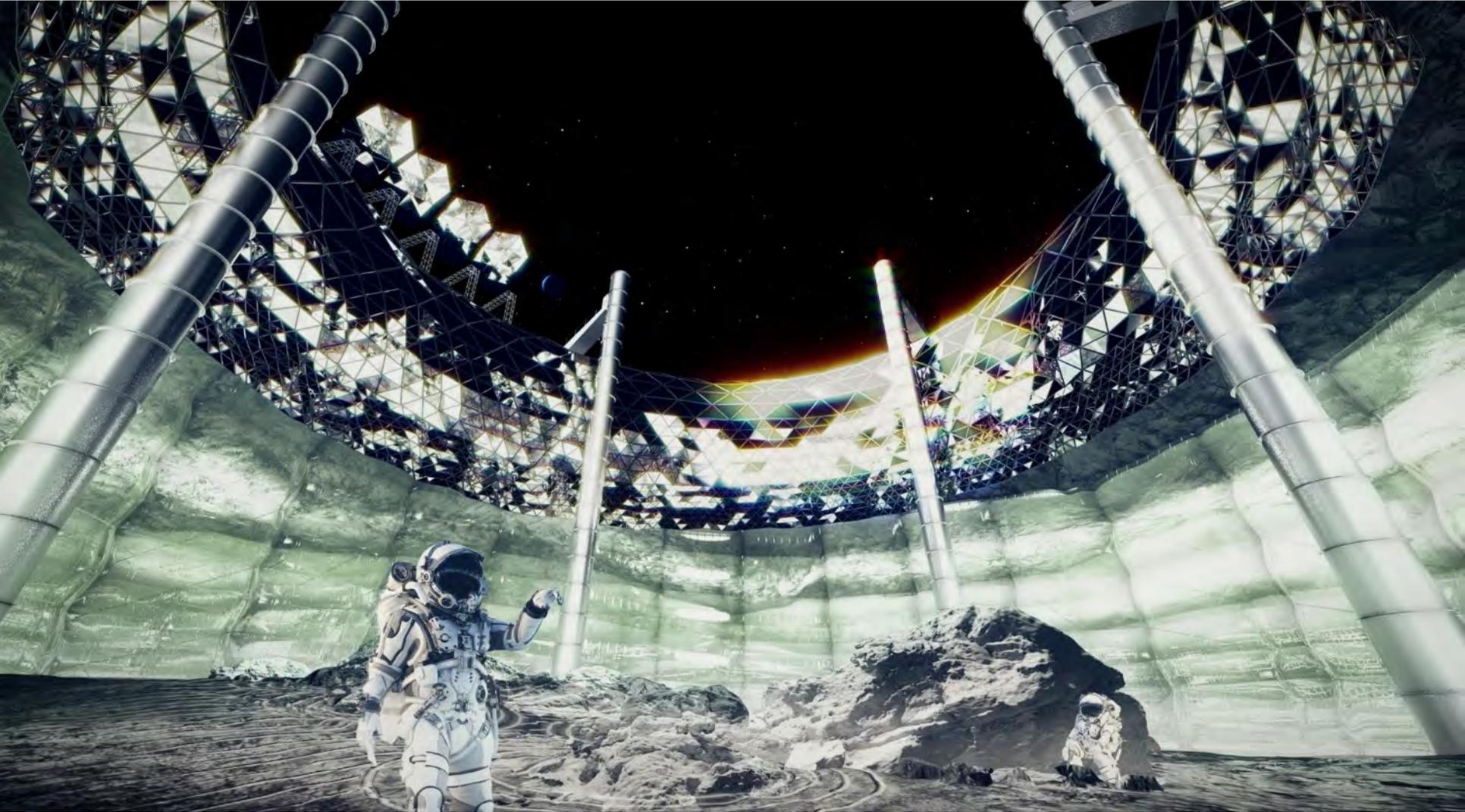
Step-2 : 縦孔側へ順次壁面立上げ

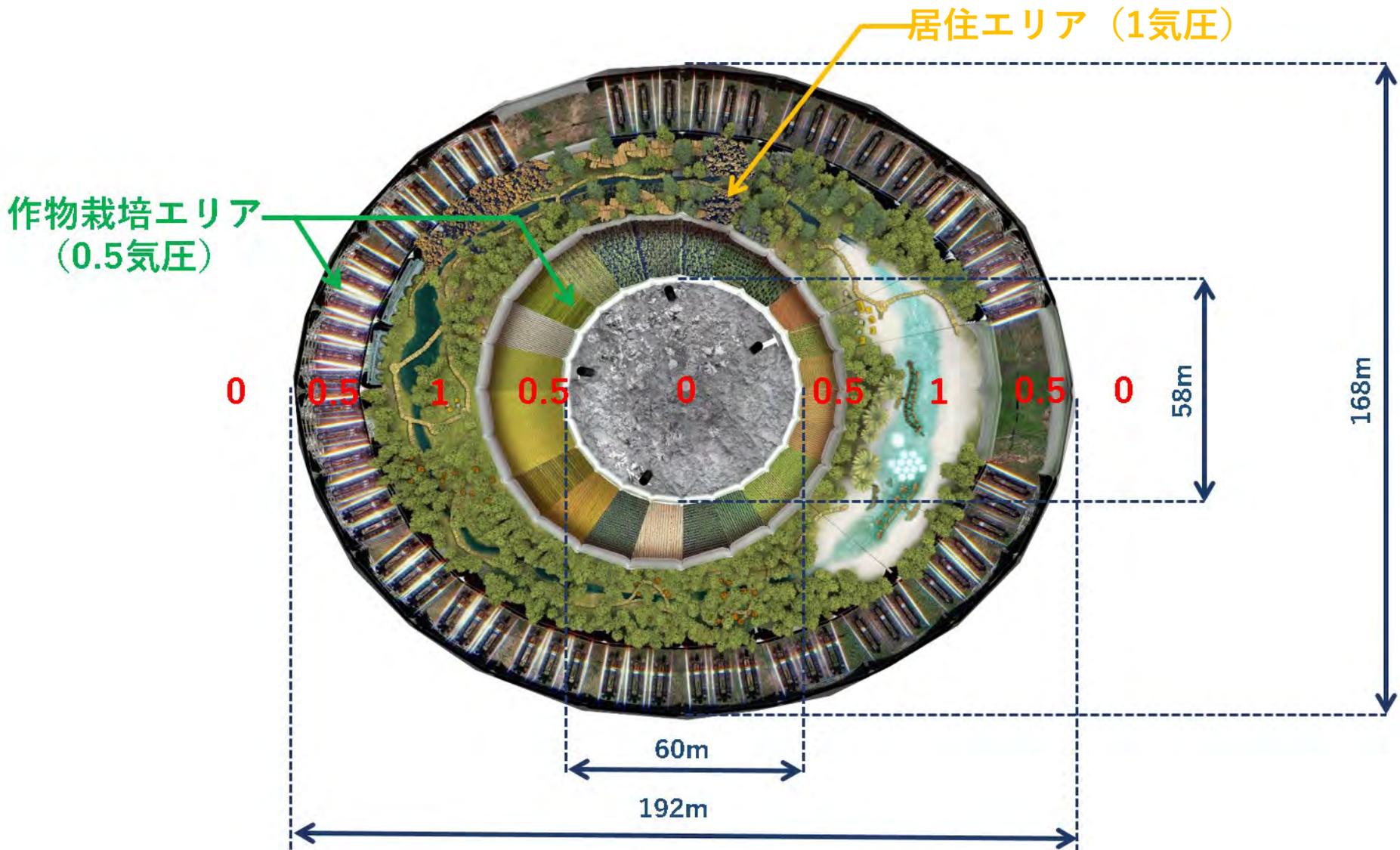


Step-3 : 多重壁面立上げ後、スポークケーブルで相互固定









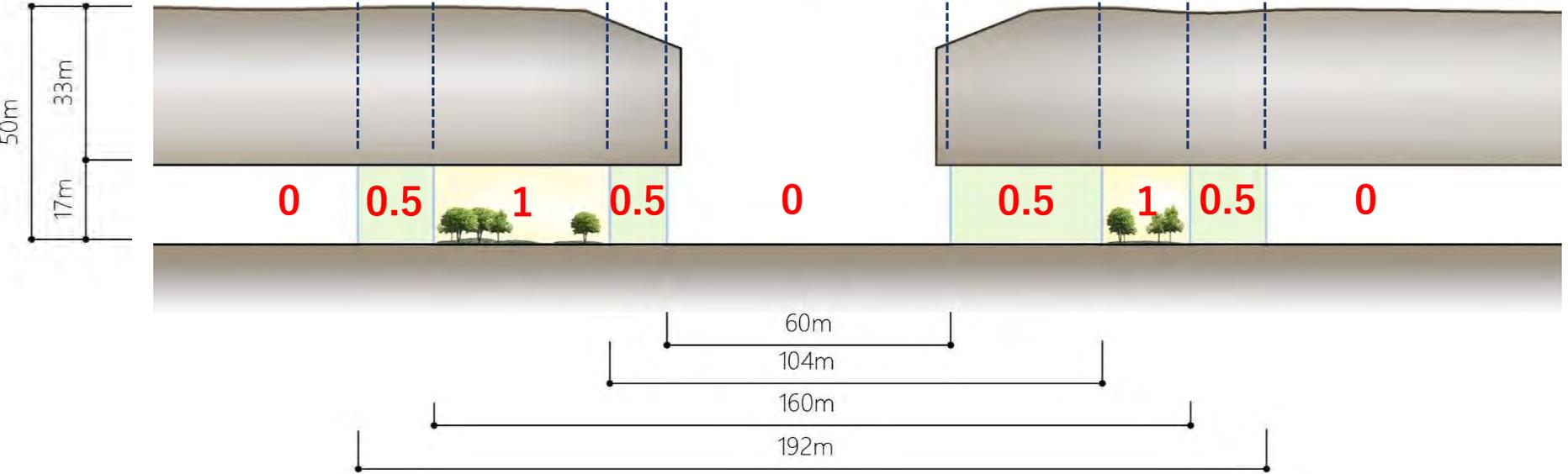
約50名+アバター50体を想定

平面ゾーニング

(アバター：人の分身となるロボット。遠隔からでも操作できる。)

作物栽培エリア
(0.5気圧)

居住エリア
(1気圧)



断面ゾーニング